

1. 研究室概要

大学名	東京農工大学		研究者	森山 裕充
			職位	講師
研究領域	ライフサイエンス		窓口担当	産学官連携・知的財産センター
研究キーワード	マイコウイルス、RNA ウィルス、弱毒性、植物病原性物質、生物防除剤			
住所	〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16			
電話	042-388-7175	E-mail	zimcra@cc.tuat.ac.jp	
FAX	042-388-7280	URL	http://www.tuat.ac.jp/~mcb/	

2. 技術PR事項

『農作物の病原菌を弱毒化する安全性の高い防除資材を開発』

イネいもち病菌及びアルタナリア菌の生育を抑制するマイコウイルスを世界で初めて発見した研究者が、環境にやさしく高い効果が持続する新たな防除資材の事業化を目指しています。

1. 概要

酵母中で発現し増殖できる特殊な技術を駆使して、マイコウイルスを分離することにより、環境にやさしい生物防除資材を開発しました。

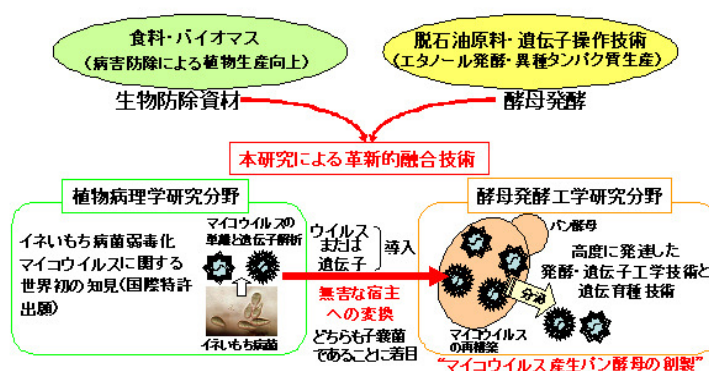
◇パン酵母の製造、品質管理技術を利用することで、これまで微生物農薬の弱点の

- ・低い生産性⇒高い生産性を実現
- ・煩雑な散布方法⇒簡単な散布方法
- ・長期保存の困難性⇒長期保存可能の問題を一気に克服できます。

◇マイコウイルスは菌類に特有に感染し動物や植物には感染しないため、人に対する安全性が高いウイルスです。

◇パン酵母をマイコウイルスの散布剤として用いた生物防除資材としての技術は、未だ試行されてなく、独創性と革新性に富む製品となることが期待できます。

◇本生物防除資材を使用することにより、イネの生産性向上にも貢献することが出来ます。



2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

◆重要植物病原菌を弱毒化する新たなマイコウイルスによる生物防除資材の事業化に、共同で取り組んで頂ける微生物の養ノウハウ技術を有する農薬メーカー様や発酵メーカー様及び本技術を応用して各種製品化・事業化をお考え頂ける企業様との連携を希望します。

3. 特記事項

●代表論文: Urayama S., Kato S., Suzuki Y., Aoki N., Le Minh T., Arie T., Teraoka T., Fukuhara T., Moriyama H. (2010) Mycoviruses related to chrysovirus affect vegetative growth in the rice blast fungus *Magnaporthe oryzae*. *Journal of General Virology* 91: 3085-3094.